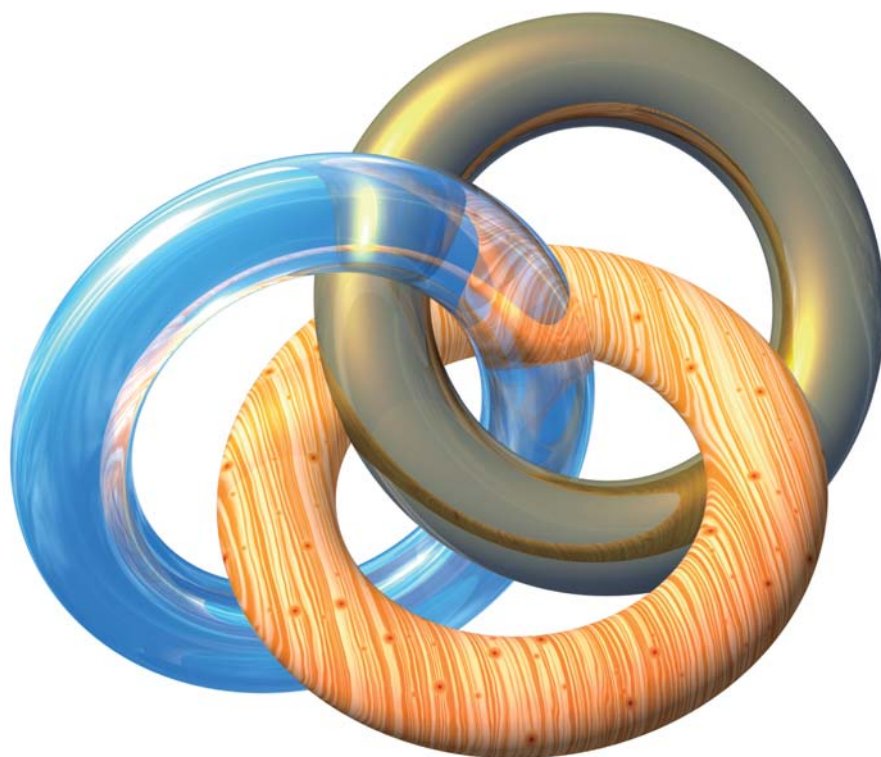


ブレインバンク事前登録ご協力をお願い

高齢者ブレインバンク ～次世代のために～

アルツハイマー病やパーキンソン病などの老化性疾患は、脳や脊髄の神経細胞がうまく働かなくなるために起こる病気です。

このような疾患の原因や病態は未だ解明途上であり、発症メカニズムを明らかにし治療法開発へつなげるために死後脳研究は欠かせません。



ブレインバンク事前登録は、ご本人が熟慮し判断できる「意思表示」であり、「自分の死後、医学研究のために脳を寄託する」という篤志をご登録いただくものです。

高齢者ブレインバンクのロゴマークである三つの輪は、患者・医療関係者・研究者の三者による、老化性疾患克服のための市民運動を象徴するものです。

高齢者ブレインバンク事務局
(地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター)



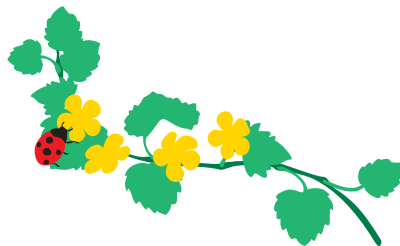
ブレインバンクとは

ブレインバンク (Brain Bank: 死後脳バンク) は、疾患の原因究明と治療法の開発のために、人の死後脳を系統的に保存するためのシステムであり、脳の病気を研究するためには欠かすことのできないものです。欧米では、「自分が死んだ後に自分の脳を医学研究に使ってほしい」といった、自らの意思表示による事前登録が広く実施されていますが、日本においてはまだ十分に組織化されていません。

アルツハイマー病やパーキンソン病など、老化に関係した疾患(老化性疾患)は、脳や脊髄の神経細胞がうまく働かなくなるために起こる病気です。医学の進歩によって、これらの病気の症状を改善・治療する様々な薬が開発されてきましたが、いまだに根本的な治療法は確立されていません。これら疾患の原因究明や治療法の開発のためには、脳や脊髄など病気との関連が強い部分を実際に調べることが不可欠です。

高齢者ブレインバンクに提供された脳組織(検体)は、系統的に保存され、老化性疾患に関する研究へ提供されることで、次世代の医学の発展に貢献しています。

運営にあたっては、死体解剖保存法や医学研究に関する各種倫理指針の遵守を基本としております。



<主な活動内容>

- IC(インフォームド・コンセント)による事前登録
- 提供された組織(検体)の病理学的な診断
- 検体の系統的な保存
- 老化性疾患研究への検体供与
- 研究成果の公表 など



事前登録 Q&A

Q 脳はどのような研究に役立てられますか？

A アルツハイマー病やパーキンソン病などの脳に原因のある疾患解明のための研究に使われます。たとえば、アルツハイマー病では、アミロイドベータ蛋白が集まってできる「老人斑」や、タウ蛋白が集まってできる「神経原線維変化」が脳内にたまり、増えていくことが原因とされています。そして神経細胞の正常な機能を障害していきます。このような神経細胞が壊れていくメカニズムを解明し治療につなげていくために、幅広い研究が日々続けられています。

Q 事前登録者は必ず脳を提供すべきですか？

A 事前登録は、いつでも再考し、撤回することができます。個人の自由意志によりますので、お気持ちが変わった場合にはいつでも登録を取り消すことができます。また、実際は、改めてご遺族からの病理解剖承諾を受けない限り脳の提供は実施されませんので、事前登録した時点での義務や法的拘束力はありません。

Q 認知症と診断された人は登録できますか？

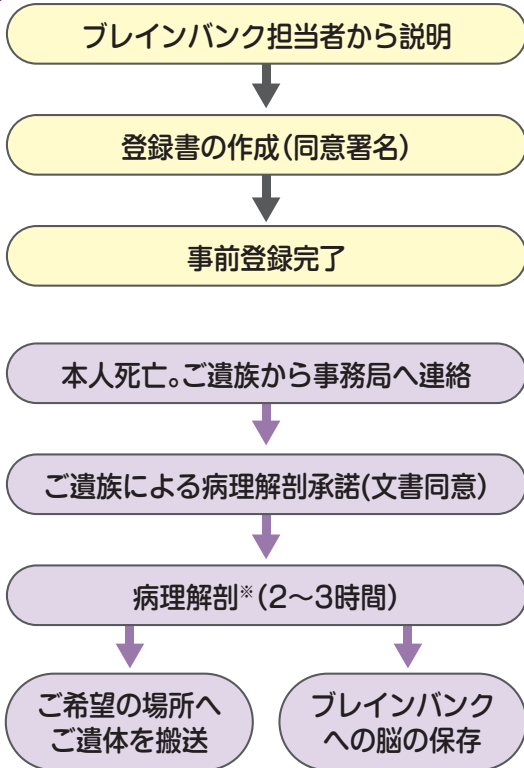
A 登録の前提は、ご本人の意思表示の登録であるため、判断能力が保たれている場合となります。ただし、その方の判断能力が認知症などのご病気により不十分となったとしても、お元気な頃であればブレインバンクに賛同したとご家族が判断される場合には、ご家族による代諾者登録も受け付けています。これは、同じ病に苦しむ人達への貢献を強く望む家族の気持ちを汲み、加えて病理解剖により最終診断をつけることは医療の最終責任を果たすことであるという当ブレインバンクの理念によるものです。

Q 個人情報の扱いはどのようになっていますか？

A 匿名化や最新のセキュリティにより、個人情報は厳重に守られます。研究者に提供される個々の検体は、匿名化されます。また、情報データベースに対する不正な侵入や攻撃などに備えて厳重な対策をとっています。細心の注意を払って、個人情報を管理しております。



登録から提供までの流れ



※病理解剖後、縫合の跡が残りますが、着衣等により外から目立たないようにし、ご遺族様へご遺体をお引き渡しさせていただきます。

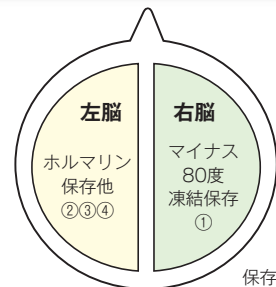


死後脳の保存方法

病理解剖により摘出された脳・脊髄など(検体)は、死体解剖保存法を遵守してブレインバンクで丁寧に保存されます。検体には個人名ではなく検体番号をつけて管理されます。保存には、下記のような方法がとられます。

<主な保存方法>

- ①凍結し超低温槽で保存
- ②ホルマリンなどの固定液に入れて保存
- ③パラフィンなどの組織ブロックにして保存
- ④顕微鏡標本などにして保存 など



保存の一例

キリトリ線

高齢者ブレインバンク資料請求書

お名前	ふりがな	
	(姓)	(名)
ご住所	〒	都 道 府 県
電話	—	—
Eメール		@
その他、ご不明の点やご要望がございましたらご記入ください。		

ブレインバンク事前登録カード

本カード所持者は「高齢者ブレインバンク」への事前登録者です。

事前登録者の死亡時に、ご遺族がその意思に同意いただける場合には、事務局へ電話連絡をお願いいたします。

☎ :XX-XXXX-XXXX 内線XXXX (休・夜 9時~17時)
 📠 :XXX-XXXX-XXXX (上記以外の時間帯)

高齢者ブレインバンク事務局
 (東京都健康長寿医療センター内)
 〒175-0015 東京都板橋区深谷 35-2

私は、「高齢者ブレインバンク」の趣旨に賛同し、死後に脳を医学研究のために提供する、事前登録をしています。

同意日付 20 年 月 日
 本人署名
 登録番号

私は事前登録をしましたが、その意思を撤回し脳を提供しないことに決めました。

撤回日付 20 年 月 日

Q 健康な人も登録できますか？

A 健康な方や老化性疾患のない方からの登録も受け付けています。これは健康なご高齢の方の脳と、疾患のある方の脳とを比較することで、加齢による脳の変化を考慮した研究を進めることができるからです。また、高齢になっても脳の病気が生じない仕組みの解明につながる貴重なリソースとなります。当バンクでは20才以上の幅広い年代の方からも登録を受け付けております。

高齢者ブレインバンクへの事前登録の概要

ブレインバンクへの事前登録は、自ら熟慮し、死後に脳をブレインバンクに寄託することで、医学研究に役立てたいという意思表示をし、その篤志を登録していただくものです。事前登録者が亡くなられた時にご遺族が同意してくだされば、死体解剖保存法にもとづき、同意の内容に応じて死後脳を高齢者ブレインバンクに保存し、医学研究に使わせていただきます。

登録に際しては、関係資料をよく読み、ご家族と十分にご相談のうえ、事前登録同意書にご本人あるいは代諾者のご署名をお願いいたします。

事前登録は個人の自由意志によります。そのため、いつでも撤回し、登録を取り消すことができます。事前登録しない場合も、その後に撤回した場合も、診療上のいかなる不利益も生じません。いったん同意書を提出した後、撤回する場合は、撤回書を事務局にご郵送くださいますようお願いいたします。

私たちは、当ブレインバンク活動の趣旨を、事前登録者本人とご家族の双方にご理解をいただいたうえで、老化性疾患の克服のために、ご協力をいただきたいと考えております。

キリトリ線

郵便はがき

173-0015

おそれいますが
切手をお貼り
ください。

東京都板橋区栄町35-2

東京都健康長寿医療センター
高齢者ブレインバンク事務局 行

ご関心をお持ちいただけましたら、関係資料をお送りいたします。事務局へお電話、添付ハガキ、もしくはe-mailにてご請求ください。

e-mailにて資料請求の場合には、住所、氏名、年齢、電話番号をお送り下さい。

その他ご質問、ご不明な点などございましたら、ブレインバンク事務局へいつでもご連絡ください。



高齢者ブレインバンク事務局

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター

〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2

電話 03-3964-3241 内線4419(4417)

ファックス 03-3579-4776

ホームページ <http://www.mci.gr.jp/BrainBank>

Eメール bbar@tmig.or.jp



お問い合わせや資料のご請求等でお知らせいただきました個人情報に関連法規や指針に基づき細心の注意を払って管理いたします。

(2015年度版)